

ここに来れば東洋医学が解る！

あなたにも使いこなせる 臨床に活かす歯科漢方薬を学ぼう！！

## これからはじめる漢方薬 ～その基礎と臨床～

TAO 東洋医学研究会 歯科漢方薬講習会 6 日間（年間コース）

医科では 2001 年から漢方薬がコアカリキュラムになり、その結果、現在 86.3 % のドクターが漢方薬を処方し、処方経験あるドクターが 10 %、処方していないドクターはわずか 3.7 % の状況です。したがって歯科にも漢方薬を飲んでいる患者が毎日来院しています。歯科医師は患者が飲んでいる漢方薬を理解できていますか？ H24 年 4 月より漢方薬 7 処方 が歯科保険適応となりました。しかし処方している歯科医師はほとんどいません。未だに歯学教育の中で教えられないからです。7 処方 は歯周病に排膿散及湯、口内炎に半夏瀉心湯、黄連湯、茵陳蒿湯、口渴に白虎加人参湯、五苓散が、歯痛に立効散を処方することができます。この 7 処方 を使いこなせるだけでどれほど日常歯科臨床の幅が広がるのでしょうか！世の中は超高齢社会に突入し、身体に優しい、究極の予防医学となる漢方薬処方 は医科の常識となり、患者もそれを選択するようになっていきます。歯科医師にも漢方薬の知識が必要なことは明白です。

TAO 東洋医学研究会は今年で 28 年目を迎えます。毎年 6 回で完結する大きなテーマを決め、歯科医師のための歯科医療に直結する漢方薬の知識を修得する研修会です。歯科症例検討会では、実際の歯科症例を持ち寄り、医局会カンファレンス方式でのフリーディスカッションを行います。飲み比べ実習では、構成生薬をそれぞれブラインドで配付し、何の方剤かを考えます。最後に生薬それぞれについて解説し、実際に煎じ薬も飲んで頂きます。ペーパートレーニングは日本東洋医学会専門医問題 5 問を行い解説します。6 回で確実に漢方薬のスキルがアップします。

舌痛症や口内炎、顎関節症、口腔乾燥症、口臭症など漢方薬が有効である疾患が増えています。歯科での漢方薬に対するニーズは高まるばかりです。TAO 東洋医学研究会に参加して、正しい漢方薬の知識の習得し、患者からの信頼を獲得してください。歯科患者も人に優しい漢方薬の処方を望んでいます。

今年度は邵先生に東洋医学の基礎診断方法から問診、舌診、脈診を解説して頂き、構成生薬についても中薬各論と言うことで効能効果別に解説して頂きます。小林先生には痛みや便の状態などから状態を把握し、どのような処方を組み立てるかを解説して頂きます。今年度の講義内容もこれまでとは全く違った内容になります。これから漢方薬の勉強を始める方にも、ベテランの方にも十分満足して頂ける内容と確信しています。歯科医師はもちろんのこと、歯科衛生士の方も多く参加されています。漢方薬に興味ある方はどなたでも参加できます。



講師紹介：

邵 輝

天津中医薬大学教授

産業医科大学講師



小林 宏

福山大学薬学部講師

漢方薬局誠宏堂主宰



会場：大阪大学中之島センター

日程：各回 午前 10:00 ～ 12:30 午後 13:30 ～ 16:00

・第 1 回 2016 年 5 月 22 日（日）

・第 4 回 11 月 6 日（日）

・第 2 回 7 月 24 日（日）

2017 年・第 5 回 1 月 29 日（日）

・第 3 回 9 月 4 日（日）

・第 6 回 3 月 26 日（日）

【TAO 東洋医学講座プログラム 各日とも10:00~16:00】

回	期日	午前 (邵輝)	午後 (小林宏)	
1	平成 28 年 5 月 22 日	問診 1 (寒と熱、排便) 補益薬 (全身倦怠感、やる気が ない時、良薬がある)	便秘・下痢に対する漢方方剤 の適応 (選択のポイントは便の硬さ)	・ペーパー トレーニング  (テスト形式で実力をつけて いただきます)
2	7 月 24 日	問診 2 (痛み、睡眠) 清熱薬 (口が臭い、発疹、皮膚 痒い)	ストレス症状に対する漢方方 剤の適応 (西洋医学との併用の糸口)	・歯科症例検討会  (実際の症例を持ち寄り、医 局会カンファレンス方式のフ リーディスカッションで実力 をつけていただきます)
3	9 月 4 日	舌診 1 (舌色について) 祛風湿薬 (関節痛、冷え、日本 人が多い病症)	痛みに対する漢方方剤の適応 (東洋医学独特の痛みの分類)	
4	11 月 6 日	舌診 2 (舌苔について) 解表薬 (風邪、鼻炎にいい薬が ある)	風邪症状に対する漢方方剤の 適応 (一つの病名に多種多様 の方剤を活用)	・飲み比べ実習  (基本方剤の煎じ薬を服用し ていただき、構成生薬につい て解説します)
5	平成 29 年 1 月 29 日	脈診 (診察法と弁証) 瀉下薬 (解毒の方法論)	アトピー性皮膚炎に対する漢 方方剤の適応 (ステロイドの減薬は可能か)	
6	3 月 26 日	腹診 (診察法と弁証) 活血薬 (婦人病の治療ポイント)	不妊症 (妊娠希望) に対する 漢方方剤の適応 (大切なのは 「受精」か「着床」か)	

参加費：歯科医師、医師、薬剤師、鍼灸師 年会費:¥84,000 円 各回 6,000 円  
 歯科衛生士、看護師、パラスタッフ、学生 年会費なし 各回 6,000 円

定員：80名

申し込み：TAO東洋医学研究会事務局 〒194-0204 東京都町田市小山田桜台 2-5-19-103 TEL042-860-0461

FAX042-860-0462 Email:s-kura@kg7.so-net.ne.jp ホームページ：http://www.tao-toyo.jp/

振込先：三井住友銀行 横浜駅前支店 普通 2654215 口座名 TAO東洋医学研究会



\*大阪大学中之島センター案内図

大阪市北区中之島 4-3-53 TEL.06-6444-2100 京阪電車中之島線「渡辺橋」(1, 2 番出口)すぐ

TAO東洋医学研究会 漢方薬6日間(年間コース)  
参加申込書

氏名

生年月日 年 月 日

TEL :

FAX :

〒

住所:

(診療所名 ) 診療所が上記と異なる場合

〒